

(2) 一宮町デマンド交通試験運行（地域公共交通活性化・再生総合事業）計画（案）について

一宮町地域公共交通活性化協議会では、公共交通に関するアンケート結果から協議した結果、高齢化が進む一宮町の早急な対策として、まずは高齢者を中心に買物や通院の交通手段が必要と考え「ドア to ドア」のデマンド交通試験運行を計画しました。

この計画について、2月にパブリックコメント、住民説明会を行ないましたところ、現在ある「にこにこサービス」（高齢者を対象に月4回まで通院について無料で送迎するサービス）を残してほしい、今の親切な運転手さんを残してほしいとの意見があり、その後も町に相談者が同じ意見を持ってきました。

当初は、他の市町村と同じように交通事業者に運行を委託する予定でしたが、「にこにこサービス」と運転手さん達を残すことを考えると、道路運送法第79条により一宮町が登録を受け、市町村運営有償運送（市町村がその区域内において、当該区域内の住民のために自家用自動車を使用して行う運送）で試験運行することも一案と考えました。

早速、一宮町が市町村運営有償運送で試験運行することについて、町内のバス・タクシー事業者と協議したところ、快く承諾を頂きましたので、千葉運輸支局に相談しましたが、許可の対象が「市町村運営有償運送（交通空白輸送）」にあっては、路線を定めて行うものとする。」となっており、この基準の中でいかに「ドア to ドア」を実現させるかを協議した結果、完全な「ドア to ドア」はこの市町村運営有償運送では難しい結論となりました。

一宮町では、高齢者を中心とした交通手段がまず必要と考えており、それには「ドア to ドア」は必須と考え、秋からの試験運行を、「ドア to ドア」のできる「にこにこサービス」を拡大した、「新にこにこサービス」を行なえば、現在の運転手さん達にもお願いできるし、経費も節減でき将来の存続性も高められると考えました。

このことについても町内のバス・タクシー事業者に相談し、承諾を頂きました。

つきましては、秋からの《地域公共交通活性化・再生総合事業》の試験運行を、「現行にこにこサービス」から「新にこにこサービス」に移行したいと考えます。試験運行期間は平成22年10月1日（金）から平成23年9月30日（金）までの1年間を考えており、試験運行の結果、反響、又制約条件の変化等機会を伺いながら、今後検討して参ります。